

鎌倉市子ども・若者育成プラン(素案)

パブリックコメントの概要と市の考え方

実施期間：令和2年12月26日～令和3年1月26日

No	章	ページ	項目	ご意見の内容	ご意見に対する市の考え方	反映
1	3	28	3	<ul style="list-style-type: none"> ・第4章施策の方針に「青少年の心の育成」という言葉、コンセプトを盛り込むこと ・重点事業2 育成事業に「青少年の心の育成を目的とした講演会等を開催する」を加えること 	第3章計画の基本的な考え方の3 主要な取組 目標5に「命の大切さやこころの健康づくり」を追加しています。	☆
2	—	—	—	子ども・若者育成プラン（素案）における子ども・若者の取り扱いが根本的に間違っているのではないか。そもそも彼らの将来がなぜ「地域社会との関わりや貢献する事」に重点を置かれなくてはいけないのか。第一に「人間として如何あるべきかを正しく考えること」のできる環境と機会を提供する方策、次いで「社会人としての規範の受け止め」と自らの対処の仕方の発見、などが大切なので、それは鎌倉市に生活拠点を置くか置かないに関わらず必要なものです。SDGsの捉え方自体、此処の文言にとらわれて矮小化されているのですが、もっと根本的に根付いたものの考え方をして下さい。	本プランでは、子ども・若者育成支援推進法の趣旨を踏まえ、次世代を担う青少年一人ひとりの自立に向けた環境づくりを推進することを目指しています。	
3	—	—	—	中学・高校生ともなれば、学校に関わる活動（部活動など）や、塾など放課後学習等で、自主的に過ごし方を考えられるものと思っていましたので、本活動が対象としている「若者」が具体的に想像できずにおります。対象者がどんな「若者」なのか、市民にも理解できるように広報してほしいと思いました。	本プランの対象としている青少年は、15歳から30歳までを対象としています。この世代には、修学及び就業のいずれもしていない青少年もおり、彼らへの支援も含め、幅広く対象としています。事業を実施する中で、周知していきます。	